



「 2021年 3月期
第1四半期の決算説明資料 」です。

どうぞご覧ください。

2021年3月期 第1四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2021年3月期 重点施策と業績見通し

2

ご覧の項目について、
ご説明 いたします。

まずは、
「2021年3月期 第1四半期 決算概要」から、
ご説明いたします。

最高売上・利益・受注残高 更新!!最高
売上高!!売上高 **34億33百万円** (前期比 +8.6%)

最高益!!

営業利益 **3億48百万円** (前期比 +17.8%)

過去最高!!

受注残高 **31億16百万円** (前期比 +26.3%)

■進捗率

売上高 : 第2四半期 **51.4%** / 通期 **25.4%**営業利益 : 第2四半期 **61.0%** / 通期 **28.6%**ご参考 2021年3月期 業績予想 売上高 第2四半期: 66.8億円/通期: 135.0億円
営業利益 第2四半期: 5.7億円/通期: 12.2億円

3

業績の総括です。

売上高は、「34億33百万円」、
 営業利益は、「3億48百万円」、
 受注残高は、「31億16百万円」となり、

売上高、営業利益、受注残高、
 いずれも「過去最高を更新」しました。

業績予想に対する進捗はご覧の通りです。

新型コロナウイルス感染症：「業績への影響：無し」

社会インフラ事業

- ◆ エネルギー（電力・ガス）：計画通り推移

先進インダストリー事業

- ◆ メディカル・次世代自動車（先進EV、自動運転）：計画通り推移

ソリューションの創造（Withコロナ）

- ◆ 「セキュア・ラップトップ」：自治体テレワーク
- ◆ 「IoTセキュアサーバー」：工場のIoT化・クラウド化
- ◆ 「GIS×ARソリューション」：保守点検のDX促進

企業活動

- ◆ 新型コロナウイルス対策本部（2020年1月～）
- ◆ テレワーク・リモート開発
- ◆ 新入社員研修の充実（期間延長、オンライン研修）
- ◆ コスト低減：オンライン研修・会議



4

次に、この第1四半期における新型コロナウイルスによる事業影響をご説明いたします。

まず、「社会インフラ事業」では、ライフライン・システムに直結する、「電力・ガス」のエネルギーを中心に、スケジュール通り進捗しました。

次に、「先進インダストリー事業」では、一部サービス関連で、スケジュールの延期等の動きもありましたが、大きな影響は、ありませんでした。

加えて、「ソリューションの創造・提供」においては、「Withコロナ」のニューノーマル時代を見据えた、ソリューションの創造・提供に注力しました。

また、「企業活動」におけるコロナ対策として、対策本部が中心となり、影響が最小限となるよう、取り組んでおります。

結果として、この第1四半期・業績における、新型コロナウイルスによる特段の影響は、ありませんでした。

◆ 営業利益率： **10.2%** (過去最高!!)

(単位：百万円)	2020/3 1Q		2021/3 1Q		前期比	
	実績	率%	実績	率%	増減額	増減率%
売上高	3,162	-	3,433	-	270	8.6
社会インフラ事業	1,901	60.1	2,156	62.8	255	13.4
先進インダストリー事業	1,261	39.9	1,276	37.2	15	1.2
売上総利益	819	25.9	869	25.3	49	6.1
販売管理費	523	16.6	521	15.2	△2	△0.5
営業利益	295	9.4	348	10.2	52	17.8
経常利益	297	9.4	357	10.4	59	20.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	205	6.5	262	7.6	56	27.4

(注1)・2021年3月期より、アドソル・アジア株式会社（100%子会社、2020年4月1日事業開始）を、連結対象に追加しております。このため、本決算説明資料中における2020年3月期の決算数値は、親会社単体の数値を参考記載しております（比較値においても同様）。
(注2)・2021年3月期より、旅行関連を、ビジネス・技術面から親和性の高い先進インダストリー事業にセグメント変更しております。このため、2020年3月期のセグメント別売上は、旅行関連を込み集めた数値を記載しております。

それでは、業績のご説明に移ります。

まず、損益計算書の概要です。

売上高は、「 8.6% 」増収の、「 34億33百万円」、
 営業利益は、「17.8%」増益の、「 3億48百万円」、
 利益率は、「10.2%」と、
 過去最高となりました。

セグメント別売上高

- ◆ 社会インフラ事業 : エネルギー (電力・ガス)
- ◆ 先進インダストリー事業 : メディカル、次世代自動車 (先進EV、自動運転)、決済

	2020/3 1Q		2021/3 1Q		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
(単位: 百万円)						
売上高	3,162	-	3,433	-	270	8.6
社会インフラ事業	1,901	60.1	2,156	62.8	255	13.4
エネルギー	1,596	50.5	1,886	55.0	289	18.2
交通・運輸	128	4.1	130	3.8	2	1.7
公共	43	1.4	24	0.7	△19	△43.9
通信・ネットワーク	132	4.2	114	3.4	△17	△13.3
先進インダストリー事業	1,261	39.9	1,276	37.2	15	1.2
制御システム	456	14.4	539	15.7	83	18.2
基盤システム	702	22.2	638	18.6	△63	△9.1
ソリューション	101	3.2	97	2.9	△3	△3.8

6

セグメント別の概要は、ご覧の通りです。

「社会インフラ事業」では、
電力・ガスの「エネルギー分野」が好調に推移し、

「先進インダストリー事業」では、
次世代自動車や、医療・メディカルの
「制御システム分野」が、計画通り推移しました。

それでは、次項以降で、
詳細の、ご説明をいたします。

受注状況

■ エネルギー

- **電力**：自由化後のシステム更新需要、新領域など
- **ガス**：事業再編、基幹システム、DX/効率化テーマ

■ 交通・運輸

- **宇宙関連**：計画通り推移

■ 通信・ネットワーク

- **次世代通信（5G）**：継続



「社会インフラ事業」では、

- ・「エネルギー分野」は、ガス会社の「事業再編」や、「新サービスの創出」等の、旺盛な需要を取込み、拡大しました。
- ・「交通・運輸分野」では、中期的な成長のカギとなる、「宇宙関連」が、計画通り推移しました。
- ・「通信・ネットワーク分野」では、「5G」の取組みを、継続しております。

結果、

売上高は、

「13.4%増」の「21億56百万円」、

また、受注残高は、

「54.7%増」の、「23億60百万円」となりました。

受注状況

- 制御システム
 - メディカル：多拠点・分散開発推進
 - 次世代自動車、IoT基盤等：計画通り
- 基盤システム
 - 決済基盤関連：対応領域拡大
 - サービス関連：一部で縮小・延期
- ソリューション
 - LynxSECURE：採用継続（介護関連ほか）
 - GIS（地理情報システム）：ソリューション強化・拡充



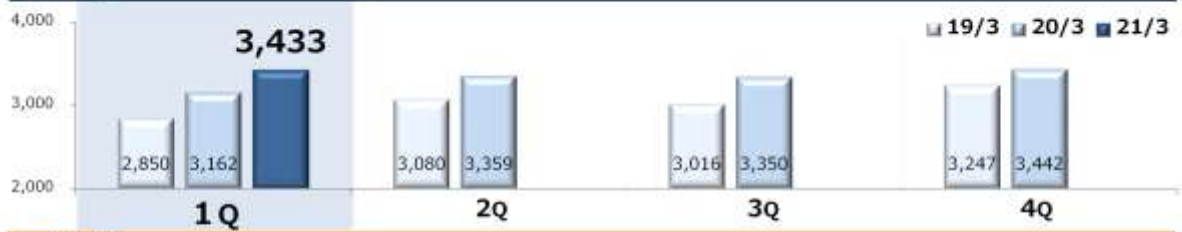
続いて、「先進インダストリー事業」です。

- ・「制御システム分野」では、
メディカル関連の機器開発や、
先進EV・自動運転等の次世代自動車関連なども
計画通り推移しました。
- ・「基盤システム分野」では、
一部サービス関連で、縮小・延期がありましたが、
決済基盤関連で、対応領域の拡大に取り組みました。
- ・「ソリューション分野」では、
IoTセキュリティの、「LynxSECURE」や
「GIS:地理情報システム」の提供に注力しました。

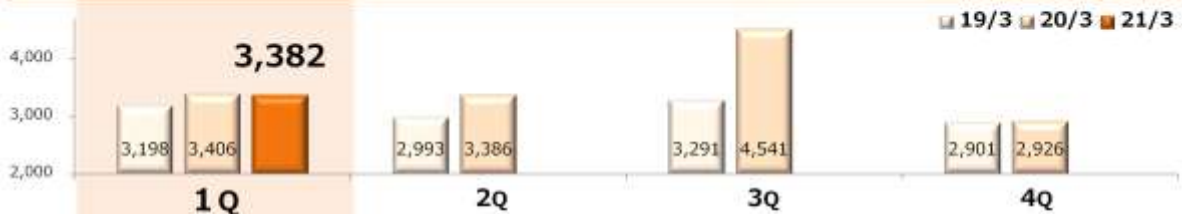
以上の結果、
売上高は、「12億76百万円」、
受注残高は、発注サイクルの短期化などの
影響により、「7億56百万円」となりました。

四半期別推移

売上高



受注高



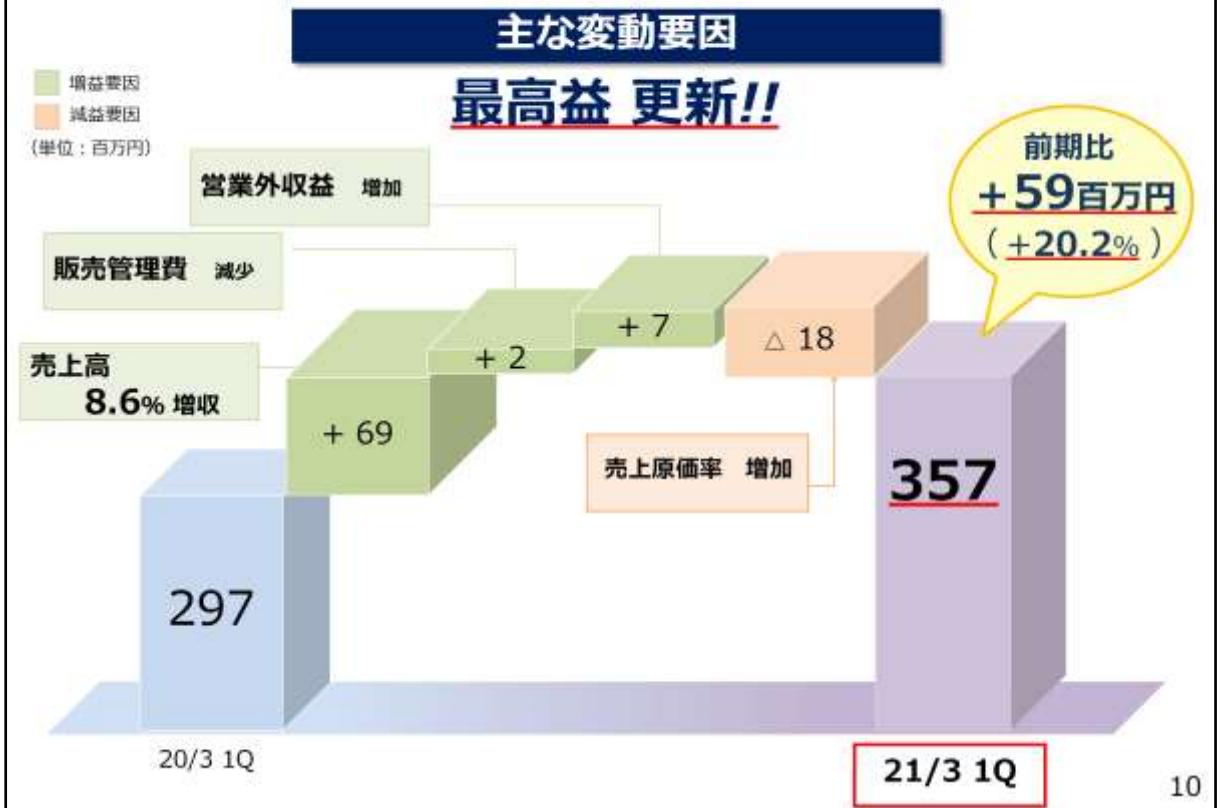
受注残高



9

四半期毎の
「売上高」、
「受注高」、
「受注残高」は、
ご覧の通りです。

尚、2022年に予定される、
「ガス会社の法的分離・大型案件」を、
2020年3月期、第3四半期に受注したことから、
受注残高が、大きく増加しております。



続いて、経常利益の分析です。

「増収効果」や、
販売管理費の減少等により、
「3億57百万円」と、「過去最高」を更新しました。

なお、販売管理費は、
新入社員研修の期間延長や、
テレワーク関連での、追加費用がありましたが、
リモートワークの推進等による
コスト削減効果により、減少しております。

貸借対照表(前期末比較)

資産

● 総資産：75 億円

(単位：百万円)

■ 流動資産 ■ 固定資産



負債・純資産

● 自己資本比率：61.2% (+ 2.9P)

(単位：百万円)

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



貸借対照表は、ご覧の通り、健全な状況を保っております。

2021年3月期 第1四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2021年3月期 重点施策と業績見通し

12

次に、
第1四半期を中心に、
当社の取組みをご紹介します。

自治体向け：「セキュア・ラップトップ」 **テレワーク!!**

「1台のパソコン」で、庁内・自宅から「セキュア」に接続



☆ 高セキュリティ ☆

・独自「高セキュリティ技術（航空・防衛領域）」
・「サイバー攻撃」・「ウイルス侵入」完全防衛

☆ コスト低減 ☆

・「1台のパソコン」で業務可能（庁内・自宅）
・テレワーク用パソコン不要

Secure Laptop™

【活用イメージ】

芦屋モデル



13

まず、自治体でのテレワークに貢献する、
「セキュア・ラップトップ」を、7月に発表しました。

当社の「高セキュリティ技術」を活用することで、
テレワークで懸念される、
外部からの「サイバー攻撃」や、「ウイルスの侵入」を、
完全に防御します。

また、庁内・自宅ともに「1台のパソコン」で
業務が可能となり、「コスト低減」にも貢献します。

現在、IoTセキュリティ研究の第一人者である、
「立命館大学の、上原哲太郎 教授」にご協力を頂き
兵庫県・芦屋市役所にて、実証実験を行っております。

また全国の自治体様への提供に向けた
準備も行っております。

工場のDX : 「IoTセキュアサーバー」

サイバー
セキュリティ
強化!!

「工場データ」+「リモート(クラウド)」=「DX」

☆ 通信・共通化 ☆

・多種多様な「工場・制御機器データ」の共通化

☆ 通信・暗号化 ☆

・膨大な「デジタル・データ」の、安全な暗号化

☆ 高セキュリティ ☆

・「工場内の閉域ネットワーク」の外部接続による
サイバー攻撃対策

☆ リアルタイム利活用 ☆

・「生産性向上」「稼働率アップ」
「制御機器の予知保全」

【IoTセキュアサーバー 活用イメージ】

- (A) HULFT IoT TAKEBISHI**
- ・安全なデータ転送とクラウドサービスを再立
 - ・生産性向上や稼働率アップ、制御機器の予知保全
- (B) LYNX Secure®**
- ・外部ネットワーク接続時のサイバー攻撃を遮断
 - ・保護されたデータを安全にクラウドへ転送。
- (C) DxpSERVER**
- ・制御機器のマルチベンダー対応、制御機器との接続性を向上
 - ・200シリーズ以上の制御機器データ収集が可能

14

次に、工場のDXを加速させる
「IoTセキュアサーバー」を、
「たけびし社」と共同開発しました。

工場の生産情報や機器情報などの、
「膨大なデジタルデータ」を、クラウドで活用することで、

生産性や稼働率など、幅広い分野での改善に、
リアルタイムに利活用すると同時に、
多種多様な制御機器との接続性や、
サイバー攻撃を遮断し、完全防御する
「高セキュリティ」を実現するなど、

「デジタル・トランスフォーメーション」を
飛躍的に進展させるソリューションです。

仏・シュナイダー社：「GIS×ARソリューション」

「GIS (地図情報)」×「AR (拡張現実)」=「DX」

【熟練技術】【ノウハウ】【経験】

GIS×ARソリューション

「技術継承」「安全性」
「ソーシャル・ディスタンス」

DX 推進!!

保守・点検の「標準化・効率化」



ARと位置情報で見える化



シュナイダーエレクトリック社
本拠地：フランス
事業展開：世界100カ国以上
URL：
<https://www.schneider-electric.com/jp>
事業概要：
ビル、データセンター、基礎インフラ、産業向けに、エネルギーマネジメントと、オートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進

15

次に、世界100カ国以上で
「デジタルトランスフォーメーション」事業を展開する
「シュナイダー社」と、

「AR:拡張現実」と、当社の「GIS:地理情報」を
融合させた
ソリューションを、共同開発しました。

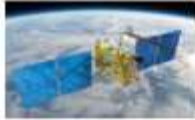
熟練技術者の、技術承継などの課題に対し、
「GIS/ARソリューション」が貢献します。

「ニューノーマル時代」への対応に加え、
「デジタル・イノベーション」を推進する、
新しいソリューションです。

「暮らしを守る ICTシステム」



「安心・安全」・「持続可能な社会の実現」



【宇宙・航空システム】

- ・航空システム
- ・航空機ICT
- ・管理システム など
- ・人工衛星
- ・衛星制御システム



【医療・ヘルスケア】

- ・医療機器
- ・介護機器
- ・介護情報システムなど
- ・医療情報システム
- ・病院システム



【防災システム】

- ・自然災害
- ・予防/予知システム
- ・気象システムなど
- ・防災インフラ
- ・防災情報ICT



【サイバー・セキュリティ】

- ・DX (デジタル・イノベーション)
- ・IoT
- ・クラウド
- ・電子マネーなど
- ・最新テクノロジー (AI, AR, VR, クラウド)

人材育成



- ・産学連携
- ・先端IT研究
- ・学術団体
- ・米国R&D

ソリューション



- ・サイバー・セキュリティ
- ・GIS：地理情報システム
- ・近距離無線/位置検知
- ・最新テクノロジー (DX・AIほか)

ICT実績



- ・社会インフラ
- ・電力・ガス
- ・防災・航空
- ・宇宙ほか
- ・先進インダストリー
- ・医療・介護
- ・自動運転、制御機器・FA
- IoTほか

次に、当社は、
「安心・安全」な、
「持続可能な社会の実現」に貢献するため、

「宇宙・航空」、「医療・ヘルスケア」、
「自然災害」、「サイバー・セキュリティ」など
さまざまな脅威から、暮らしを守るICTシステムへの
対応強化を目的に、

「安全保障システム分野」を新たに定め、
今後、その活動を、注力してまいります。

技術研究や、人材育成に加え、
当社の豊富な開発実績や、技術と、
先進的なDX・IoTテクノロジーを融合させた
新たなソリューションの提供を推進する方針です。

「アドソル・アジア社」事業開始 (4/1)

海外 **5** 拠点

- ◆社名 : アドソル・アジア株式会社
- ◆本社 : 東京都港区港南4-1-8
海外拠点 : 中国2拠点、ベトナム3拠点
海外パートナー : 10社

大連 北京 ダナン



- ◆事業概要 : アジア・アセアン圏での、ICTシステムの開発、及びサービスの提供

オフショア・サプライチェーン 強化!!

- ◆**アジア地域** : システム開発推進・体制強化

- ◆ICT開発需要 **拡大対応**

中国 **2** 拠点

大連・北京

ベトナム **3** 拠点

ハノイ・ダナン・ホーチミン

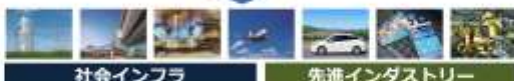
体制強化!

IoT

DX

AI

セキュリティ



社会インフラ

先進インダストリー

社会インフラ企業様・製造メーカー様・IoT機器メーカー様



17

次に、この4月に、
アジア地域での、海外オフショア開発を推進する100%子会社
「アドソル・アジア株式会社」が事業を開始しました。

この「アドソル・アジア株式会社」が中心となり、
海外5拠点(中国:2拠点、ベトナム:3拠点)の、
「オフショア・サプライチェーン」を強化し、

日本国内・大手の、
社会インフラ企業様や、製造メーカー様の、
旺盛なICT需要に
お応えしてまいります。

尚、2021年3月期より、
アドソル・アジア株式会社を、連結対象としております。

2021年3月期 第1四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2021年3月期 重点施策と業績見通し

18

次に、
2021年3月期の、重点施策と業績見通しについて
ご説明いたします。

デジタル・イノベーションで 未来を拓く



19

中長期的には、電力・ガスのエネルギーをはじめとして、宇宙、防災、情報通信5Gなどの社会インフラ、そして、自動車や医療などの先進インダストリー、いずれも、底堅いICT投資需要があります。

また、効率化や、働き方改革に向け、「DX」や、「AI」、「IoT」などの、先進的なテクノロジーを活用した、開発需要も豊富にあります。

加えて、情報のデジタル化に伴う、「デジタル・データの保護」や、「セキュリティ対策」、「サイバー攻撃対策」が、急がれております。

さらに、「Withコロナ」の「ニューノーマル時代」に向け、「ソーシャル・ディスタンス」、「テレワーク」などのICT投資需要も増加しています。

これらのICTニーズに、DX、AI、IoT、セキュリティなどの先進的なテクノロジーを駆使して、「デジタル・イノベーションで未来を拓く 創造エンジニアリング企業」として、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

◆ **11期連続 営業増益!!**

(単位：百万円)	2020/3		2021/3(予)		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
売上高	13,315	-	13,500	-	184	1.4
社会インフラ事業	8,070	60.6	8,598	63.7	529	6.6
先進インダストリー事業	5,246	39.4	4,902	36.3	△119	△6.6
売上総利益	3,284	24.7	3,375	25.0	90	2.7
営業利益	1,213	9.1	1,220	9.0	6	0.5
経常利益	1,236	9.3	1,244	9.2	7	0.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	824	6.2	826	6.1	2	0.2

※2021/3期より、「旅行関連」を、先進インダストリー事業に変更しました。

20

2021年3月期、通期の業績見通しです。

底堅いICT需要を背景に、

売上高は「135億円」
営業利益は、「12億20百万円」を、
見込んでおります。

◆ 社会インフラ 拡大 (エネルギー、宇宙など)

	2020/3 2Q		2021/3 2Q(予)		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
(単位：百万円)						
売上高	6,522	-	6,680	-	158	2.4
社会インフラ事業	3,918	60.1	4,207	63.0	289	7.4
先進インダストリー事業	2,605	39.9	2,473	37.0	△131	△5.0
売上総利益	1,649	25.3	1,670	25.0	20	1.3
営業利益	622	9.5	571	8.6	△51	△8.3
経常利益	636	9.8	585	8.8	△51	△8.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	439	6.7	412	6.2	△26	△6.2

21

2021年3月期、上期の見通しです。

過去最高を記録した、6月末の受注残高を背景に、売上高は、前期を上回る見込みです。

利益面では、

- ・プロジェクトルームの増設・増床、
- ・先進的な研究開発活動、
- ・Withコロナの、ニューノーマル・ソリューションの開発、
- ・新型コロナウイルス感染防止に向けた対策、
- ・安心・安全なシステム開発環境の整備

などの、

「投資」を見込んでいることから、

第2四半期においては、前期を下回る見込みです。

◆ 配当方針

- 配当性向 **35%**以上
- **連続増配**
- 配当計画 年 **2** 回（中間、期末）

◆ 配当予想

(単位：円)	2020/3	2021/3
中間	14	16
期末	18	17
年間	32	33

◆ 配当推移



続きまして、配当です。

配当性向は、「 35%以上 」、
株主配当は、「 中間・期末の 年2回 」と、
しております。

今期は、
「 上期 16円」、「 下期 17円 」の、
「 年間 33円 」で、
「 11期 連続増配 」を見込んでおります。

なお、
今期の配当性向は、「 36.8% 」の見込みです。



アドソル日進の取組み



23

アドソル日進の取組みをご紹介します。

社会インフラ事業

「エネルギー(電力・ガス)」「道路・鉄道」「航空・宇宙」「公共・防災」「通信ネットワーク」などの社会インフラにおけるシステム・インテグレーション・サービスを展開しています。

エネルギー分野

電力会社、ガス会社向けの基幹システムや自由化システムなど

交通・運輸分野

宇宙、航空、鉄道、道路に関連するICTシステム

公共分野

防災、ダム、河川など官公庁や、地方自治体向けのICTシステム

通信・ネットワーク分野

次世代通信(5G)など、通信関連のICTシステム



先進インダストリー事業

「次世代EV自動車」「産業機器」「設備機器」「医療機器」など、「日本のモノづくり」のIoTの促進と、次世代型の決済システムに関連する、先進的なICTシステムを提供します。

制御システム分野

次世代自動車、車載OS、オフィス機器、医療機器、設備機器など、お客様が販売する製品に組み込まれるICTシステム

基盤システム分野

決済や、クレジットカード・システム、旅行などの、基盤系ICTシステム

ソリューション分野

セキュリティや、近距離無線通信、GIS(地理情報システム)等、当社独自のソリューションの提供



社会インフラ事業、と
先進インダストリー事業の
概要でございます。

「最先端R&D：米国」 「グローバル開発：中国2拠点・ベトナム3拠点」



グローバル展開のご紹介です。

米国では、
子会社の「サンノゼR&Dセンター」にて、
「IoT・セキュリティ」の、
「研究開発」や「実証実験」と、「ビジネス展開」を、
推進しております。

アジア、アセアン圏では、国内のお客様の、
「ハイレベルなご要望」と、
「増加するICT需要」にお応えするための、
開発体制を、
「中国2拠点」、「ベトナム3拠点」で、対応しております。

“隔離” “遮断” “データ保護”

IoT デバイス

- ・IoTセキュリティソリューション：**LynxSECURE**
- ・BIOSを守る：**SECURE RESCUE**
- ・独自製品 開発・展開

セキュア ログサーバ
LynxSECURE



コンサルティング

- ・セキュリティ・ガバンスの設計
- ・セキュアシステムの設計・構築・運用・導入支援
- ・脆弱性診断

制御システム

- ・「**SECURE FACTORY**」
- ・“ネットワーク分離”
- ・“安全なデータ通信”
- ・“システム・ダウンを防ぐ”
- ・“内部感染防止”

ネットワーク

- ・重要インフラ分野
- ・各種施設（工場、病院、介護 など）

セキュア アダプター セキュア ゲートウェイ
セキュア ラップトップ



人財育成

- ・セキュリティ人材育成
（サイバーセキュリティ、IoTセキュリティ）

入退室セキュリティ

- ・「タッチタグ」
（電界通信）
- ・エントランス監視
- ・フードディフェンス



特許!

26

IoT・サイバーセキュリティ・ソリューションのご紹介です。

- ・「IoTデバイス」、
- ・「制御システム」、
- ・「ネットワーク」、
- ・「コンサルティング」、
- ・「人材育成」や、
- ・特許を保有しております、電界通信を活用した、
入退室の「フィジカル・セキュリティ」等、

幅広いサイバー・セキュリティを、
お客様に、ワンストップでご提供しております。

「コンサルティング」「セキュリティ」「グローバル」「IoT」

アライアンス



産学連携

名古屋工業大学
早稲田大学
慶応義塾大学
立命館大学
静岡大学
千葉大学
東京医療保健大学

アドソル日進

グローバル



研究団体



27

アライアンスのご紹介です。

「コンサルティング」、「セキュリティ」、
「グローバル」、「IoT」などをキーワードに、

高度な専門性を有する、国内外の、企業との
アライアンス戦略を、積極的に、推進しております。

また、各大学との共同研究・産学連携や、
先進領域での、業界団体活動、
「米国サンノゼ R&Dセンター」を通じた、
最先端の、技術習得を、推進しております。

産学連携で、「市場創成」「最新技術」

早稲田大学

「EMS 新宿実証センター」

- ◆早稲田大学先進グリッド技術研究所と経済産業省 日本初
- ◆電気・ガス、通信、住宅、自動車、家電など「26法人」
- ◆複数メーカーの機器連携



早稲田大学EMS新宿実証センター

慶應義塾大学

「GISと、IoTの融合」
／ GIS×IoTプラットフォーム」

- ◆「i-Construction」（国土交通省が推進する建設現場の生産改革の取り組み）対応
- ◆地理情報システム学会等で成果発表
- ◆ヘルモント国際共同研究への参加



立命館大学

「IoTセキュリティ」
／ 組込みマルチコア」

- ◆産学連携協定：IoTセキュリティ分野を主とする 科学技術の発展
- ◆セキュリティに関する最新テクノロジーの研究
- ◆IoTセキュリティ・ガイドラインの検討・検証
- ◆IoTセキュリティ研究センター、コンソーシアムの設立
- ◆IoTセキュリティ人材の育成

- ◆次世代IoT機器向け 共同研究
- ◆組み込み「マルチコア制御シ



毛利研究室との共同研究

協定締結式

千葉大学

「教育用AI+」
VR：Virtual Reality（仮想現実）」

- ◆「看護教育領域」での、VRの活用
- ◆「教育コンテンツ」の拡充



研究・開発中のVRシステムの一部



産学連携のご紹介です。

- ・早稲田大学との、「EMS関連」、
- ・慶應義塾大学との、「GIS：地理情報システム関連」
- ・立命館大学との、「IoTセキュリティ」「マルチコアOS」
- ・千葉大学との、「VR（仮想現実）」

などを、各大学と、取り組んでおります。

また、他の大学や、研究機関との共同研究の準備も進めています。

今後も、様々なテーマで、共同研究を予定しております。

高品質な ICTシステム

① プロジェクト・マネジメント

- ① “PMP資格”
- ② EVM・進捗管理
- ③ 高水準の品質分析

② プロジェクト監視

- ① 組織的なプロジェクト監視
- ② プロジェクト状況 “見える化”

④ 人材育成
(PM、PMO)

- ① プロジェクトマネジメント研修
- ② PMO人材

③ オリジナル・ICTツール

- ① AdsolDP
- ② 静的解析ツール
- ③ プロジェクト監視ボード



「品質」への取組みの、ご紹介です。

「プロジェクト マネジメント」、
「プロジェクト 監視」、
「独自開発の、オリジナル・ツール」、
「人材育成」の視点から、

高品質なICTシステムをご提供するため、
当社独自の、取組みを 推進し、
品質力の向上に、継続して
取り組んでまいります。

会社概要

デジタル・イノベーションで未来を拓く
アドソル日進

社名	アドソル日進株式会社 Ad-Sol Nissin Corporation
本社	〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号 リバーージュ品川 TEL:03-5796-3131 (代表) FAX:03-5796-3265 (代表)
拠点	大阪、福岡、仙台、米国サンノゼ
設立	1976年3月13日
代表者	代表取締役社長 上田 富三
資本金	5.2億円
決算	3月
事業内容	独立系のICT企業として、 社会システム事業を 中核 に企業や公共向け情報システムの開発、 及びソリューションの提供並びに商品化と販売
従業員数	1,164人 (グループ総数)
売上高	133.1億円 (2020年3月期)
上場市場	東証1部 3837
発行済株式数	9,299,460株 (2020年3月31日現在)
子会社	国内 アドソル・アジア (株) 米国 Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. (サンノゼR&Dセンター)
業務提携先	米国 Lynx Software Technologies, Inc. 中国 大連運籌科技有限公司(Weavesoft Ltd.) ベトナム 3S Intersoft JSC United Technologies Corporation Individual Systems



30

アドソル日進の、会社概要です。

アドソル日進

拠点：東京・大阪・福岡・仙台
設立：1976年3月



子会社

Ad-Sol Nissin San Jose R&D Center

拠点：米国サンノゼ・シリコンバレー
設立：2016年2月

アドソル・アジア

拠点：東京、ベトナム（ハノイ・ダナン・ホーチミン）、中国（北京・大連）
設立：2020年1月



関係会社

HTS ヒューマンテクノシステムホールディングス

拠点：福岡、東京、大阪、名古屋、横浜、熊本、鹿児島、カナダ・バンクーバー
設立：1997年6月

WEAVESOFT

拠点：中国（大連）
設立：2004年1月



アドソル日進の、グループの一覧です。

対象株主 & 時期

- 毎年9月30日、3月31日の株主様（年2回）
- 200株以上4,000株未満 : 12月、6月に優待品を発送予定
- 4,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

優待内容

■ 200株以上4,000株未満

「緑の募金」付きQ U Oカードを贈呈

- 200株以上 1,000株未満 500円相当
- 1,000株以上 2,000株未満 1,000円相当
- 2,000株以上 4,000株未満 1,500円相当

● 保有期間特典

1年以上で Q U Oカード1枚（500円相当）を
年間 2枚 追加贈呈



■ 4,000株以上

● 「緑の募金」付きQ U Oカード（3,000円相当） 又は

● 「紀州梅」「みかんジュース」「みかんゼリー」「醤油」「お米」等
から選べる株主優待カタログ
（3,000円相当の商品から一品）を贈呈



注. 写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

株主優待のご紹介です。

配当に加え、保有株数に応じた優待制度を設けており、「梅ギフト」や「クオカード」を

年2回、贈呈させていただいております。

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先

 **アドリル日進株式会社**

URL <https://www.adniss.jp/>

【本 社】〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川

TEL : 03-5796-3131 (代表)

経営企画室 広報・IR担当 TEL : 03-5796-3261 メール : ir@adniss.jp

以上で、
「2021年3月期 第1四半期」決算の
ご説明を終わらせていただきます

ありがとうございました。